

臨床福祉専門学校  
理学療法学科（昼間部）平成 28 年度 第一回教育課程編成委員会 議事録

日時：平成 28 年 11 月 22 日（火） 18：00～18：35

場所：臨床福祉専門学校 3F 会議室

出席委員及び所属

- 中村 岳雪（東京都理学療法士協会 理事）
- 下河辺 雅也（山田記念病院 技師長）
- 水落 太郎（松井病院 リハビリテーション科主任）
- 石垣 栄司（臨床福祉専門学校 理学療法学科統括学科長）
- 吉葉 則和（臨床福祉専門学校 理学療法学科科学科長）
- 樋口 豊朗（臨床福祉専門学校 教務課 主任）

1. 平成 27 年度本委員会での振り返り

石垣：学生の理学療法士としての職業理解を持たせる為の取り組みが重点的内容。

昨年度委員より意見を頂いた主な 2 点について（報告）

- ・「評価実習前後」の P T との触れ合い会については、最終的に学科で検討した結果  
→学科暦との兼ねいで実施は不可能
- ・「入学早期に P T 以外とコンセンサスを図る取り組み」  
→平成 28 年度より導入（以下が概要）

平成 28 年 8 月 31 日（水）に見学実習後の報告会の場において、従来の理学療法士との触れ合い以外に、他業種の先生方をお招きして、シンポジウムを行った。

テーマは「リハビリテーションにおけるチーム連携について考える」

看護師・作業療法士・ソーシャルワーカー 1 名ずつ参加

2. 意見交換

- ・（下河辺）入学後早期に行う取り組みとして、他業種との関わり合いを持つ事は素晴らしい、実際の学生の反応は？

→あくまで、P T の視点しか持っていなかった学生には、実際に働く際に他業種と連携する必要性が有る、そういった事がわかっただけでも、効果はあった。

- ・（水落）取組後にフィードバック的な事はやっているのか

→事後面談の場において、担任が情報を集約している。

- ・(下河辺) フィードバックについて、例えば単純なアンケートを  
(例 5 段階・自由記載欄) 実施して、多職種の方にもっと聞きたかった事を吸い  
上げ、担当の先生方に報告する必要はないか？

→学生の意見を書面で残し、運営上有効活用したい。是非検討する。

- ・(中村) 逆の立場で、他業種が P T をどう思っているか、業界内でもそういった動  
きがある。今後の委員会でも議題の一つとして取り上げたいが、P T →他業種  
のみでなく、他業種 → P T という動きも認識する必要があるが根底にある。

→確かに、その視点はなかった、同じく今後の検討事項とする。

⇒上記の件について委員了承

#### (まとめ) 第二回委員会に向けて

- ・今年実施した、他業種との触れ合いについて、実施形態をさらに掘り下げる。  
実施後のアンケートを行い、学生の感想、希望をさらに集約し、その情報を担当の先生にも  
フィードバックする。
- ・「他業種から見た P T の現状について」さらに深く議論を行う。

平成 28 年度 第二回教育課程編成委員会開催：2 月予定